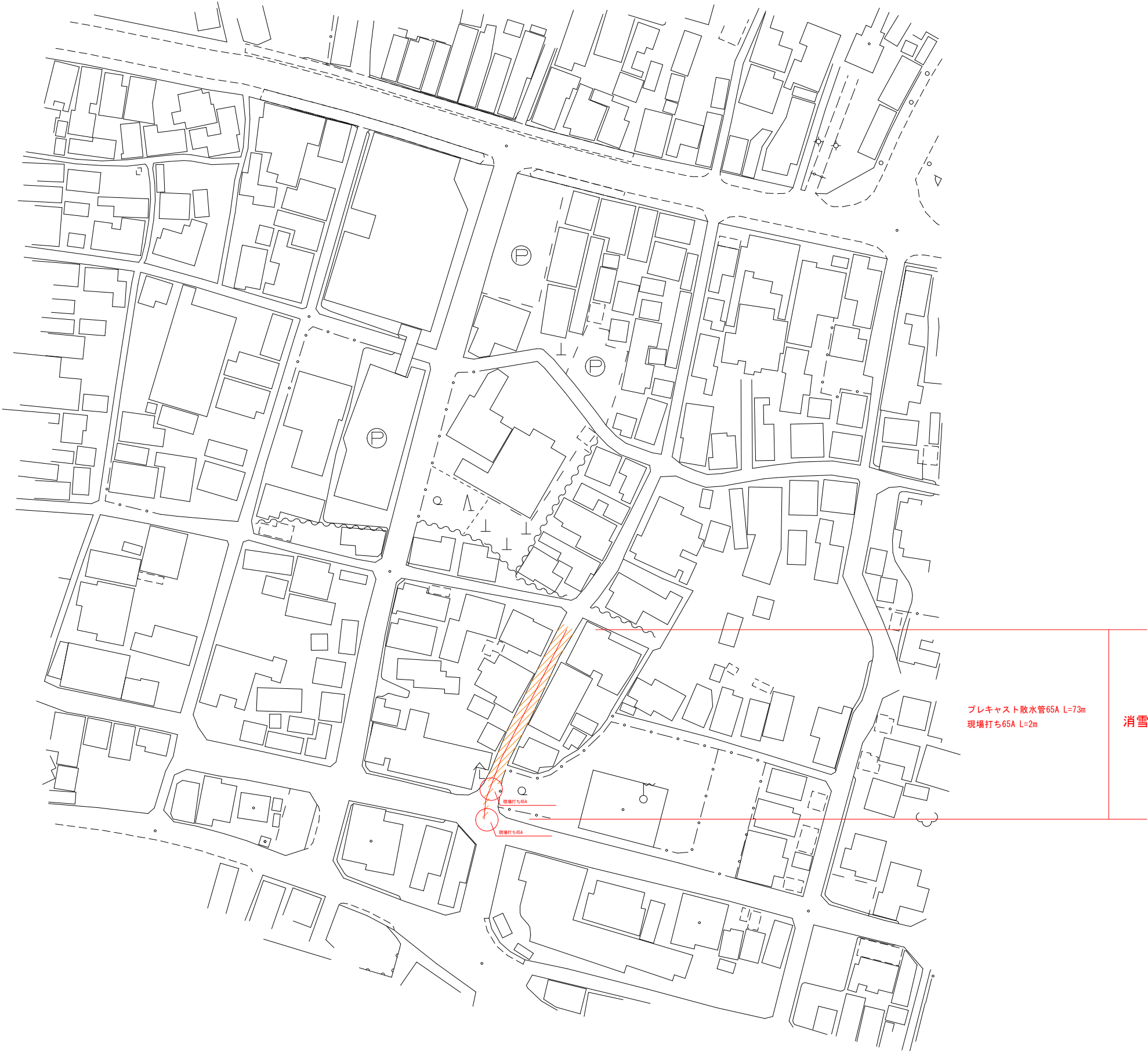


平 面 図



消雪ブロック布設替え L=75m

- ・ 散水ブロック布設工 L=73m
プレキャスト65A L=73m

- ・ 現場打ち工 L=2m

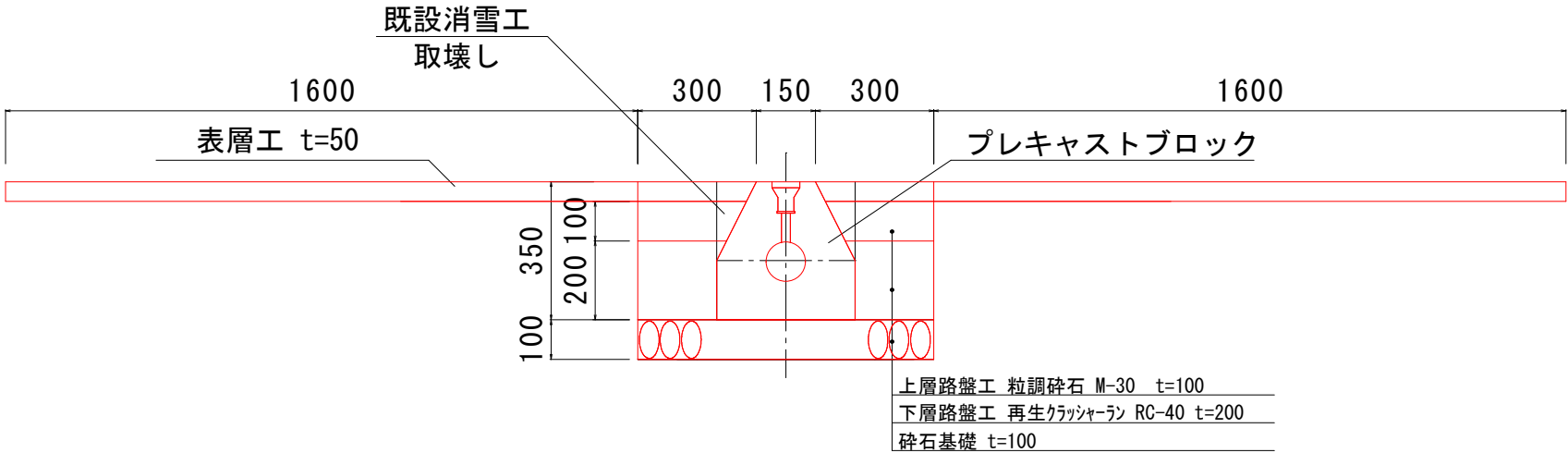
消雪ブロック布設替え L=75m

実 施 設 計 図



令和7年度
町道上中町・学校線消雪パイプ更新その3工事
中新川郡 上市町 南町 地内
平面図
上市町役場 建設課

標準断面図 s=Free



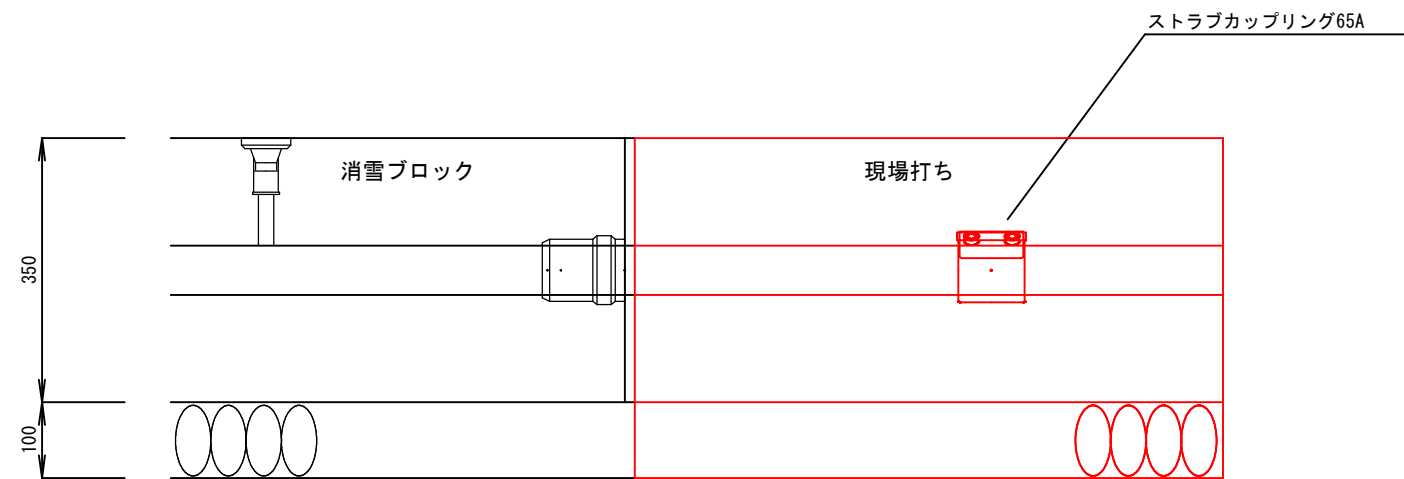
10m当たり数量	
既設As取壊	36.00m ²
床掘	1.95m ³
既設消雪工取壊	1.22m ³
下層路盤工	4.00m ²
上層路盤工	5.00m ²
基礎砕石工	7.50m ²
表層工	38.00m ²

実施設計図

2
4

令和7年度
町道上中町・学校線消雪パイプ更新その3工事
中新川郡 上市町 南町 地内
断面図
上市町役場 建設課

現場配管接続詳細図



実施設計図

3
4

令和7年度
町道上中町・学校線消雪パイプ更新その3工事
中新川郡 上市町 南町 地内
詳細図
上市町役場 建設課

名 称 消雪パイプ標準図シングル配管 車道部 VP150以下

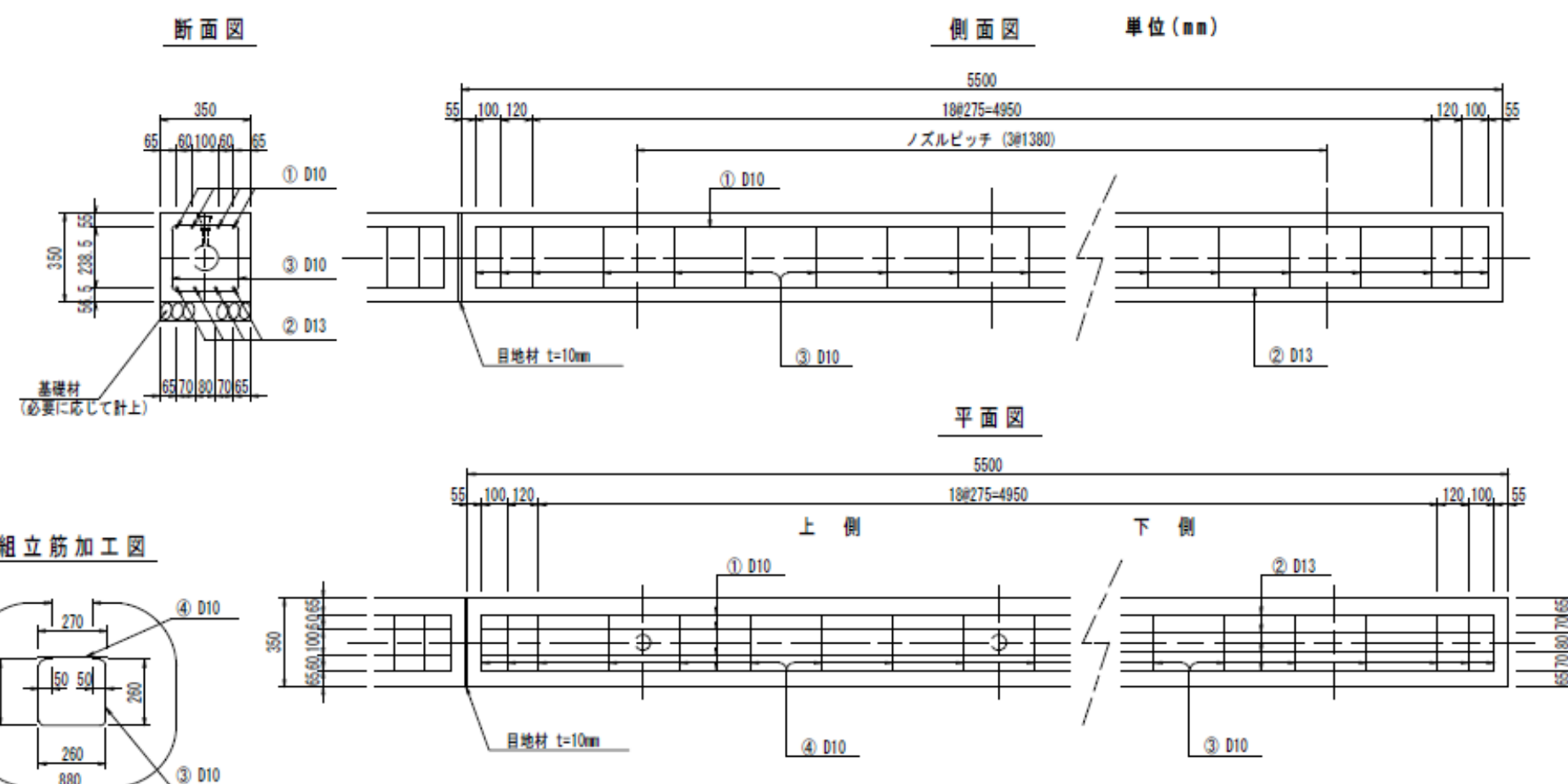
設 計 条 件	
設 計 輪 荷 重	50 kN
衝 撃 係 数	$i = 0.4$
コンクリート強度	(30-8-25) $\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$
コンクリートの分類	小構造物 (I)
鉄筋の 許容引張応力度	(SD295A) 180 N/mm^2

〔適用範囲〕

1. 施工期間の短縮、施工条件を勘案し、使用する。
2. ジョイント部は、「散水消雪施設設計施工維持管理マニュアル（散水消雪施設設計施工マニュアル編集委員会）」によるとともに、「せん断」に対する対策を行っているものを使用する。
3. ノズル立ち上がり管の本管取り付け部の構造については、「ネジ込み式ソケット」と同等の強度があるものとする。
4. 国道、県道、市道において設置から3年以上経過しても水漏れ等の異常が発生していないものとする。

〔仕 様〕

1. 管の材料は、樹脂管（VP）を標準とし、管径は、VP65A～150Aとする。
2. 基礎材は再生砕石（RC-40）を標準とし、施工にあたっては十分締め固めを行う。
3. 基礎材の厚さは10cm程度とする。
4. 地盤反力係数 $2 \times 10^5 \text{ kN/m}^2$ 以上の地盤に適用する（よく締め固められた砂混じり砂利）。



鉄 筋 表

番号	鉄筋	本数	長さ (mm)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	摘 要
1	D10	4	5,390	0.560	12.074	—
2	D13	4	5,390	0.995	21.452	—
3	D10	23	880	0.560	11.334	□
4	D10	23	270	0.560	3.478	—
D13以下 = 48.338kg						
※55.0m当り D13以下 = 483.380kg						

（注）鉄筋は、SD295Aの使用を基本とする。

コンクリート等数量表

	65	75	100	125	150	摘 要
全体断面積 (A)	0.123	0.123	0.123	0.123	0.123	$0.35 \times 0.35 \text{ m}^2$
パイプ断面積 (B)	0.0045	0.0062	0.0102	0.0154	0.0214	$\pi d^2 / 4 \text{ m}^2$
実断面積 (C)	0.1180	0.1163	0.1123	0.1071	0.1011	(A) - (B) m^2
コンクリート体積 (D)	0.649	0.640	0.618	0.589	0.556	(C) $\times 5.50 \text{ m}^3$
※ 55.0m 当り	6.49	6.40	6.18	5.89	5.56	(D) $\times 10 \text{ m}^3$
※ 目地材	10箇所 (55.0m/5.50m) $\times 0.123 \text{ m}^2 = 1.23 \text{ m}^2$ t = 10mm					
※ 路盤紙	0.35 $\times 55.0 \text{ m} = 19.25 \text{ m}^2$					

- （注） 1. 基礎クラッシャーランを入れる場合は路盤紙を計上しない。
2. ※印 55.0m 当りの数量を示す。

実施設計図

4/4

令和7年度
町道上中町・学校線消雪パイプ更新その3工事
中新川郡 上市町 上中町 地内
参考図
上市町役場 建設課